

平成29年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	5 - 2 - 10
事務事業名	小松島老人いこいの家建設事業			担当課係	市民生活課 公共交通・生活支援担当
総合計画上の位置付け	政策	②ひとりひとりが輝けるまちづくり		記入担当者	
	基本目標	5. 健やかな暮らしづくり		内線等	
	施策	5-2 地域福祉の充実		E-mail	
	基本方針	5-2-1 高齢者福祉の充実			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	臨時事業
事業予算費目	款	3	民生費	項	2 老人福祉費
	目	1	老人福祉総務費	事業	19 小松島老人いこいの家建設事業
開始年度	平成 29	年度	根拠法令・要綱等 小松島市老人いこいの家条例		

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市内に住所を有する60歳以上の者。ただし、市長が特に認めた場合はこの限りでない。
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 老人いこいの家は、市内に居住する高齢者に教養の向上やレクリエーションの場を提供することで、心身の健康増進を図ることを目的としている。現施設は建設から40年以上経過し、旧耐震基準による建物であるため、建替えを行い、高齢者を始めとする住民に安心して利用していただける施設とするものである。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 現施設に隣接する旧芝田幼稚園（平成29年3月末日廃園）の園舎を解体し、その跡地に芝田放課後児童クラブ会館との複合施設として、新しい小松島老人いこいの家を建設する。新施設整備後、現施設を解体し、跡地を駐車場用地として整備する。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 小松島老人いこいの家は、芝田放課後児童クラブ・芝田公民館との複合施設であり、市内でも利用の多い施設である。地域の避難所にも指定されているが、旧耐震基準による建物であり、老朽化も進んでいることから、地域住民が安全・安心に利用できるよう、隣接する旧芝田幼稚園跡地に新施設を整備するものである。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果
	単位	H28	H29	H30	H31	目標年度	
						目標値	
						実績	
目標							
実績							
達成度							

活動実績・参考となる指標	指標名	単位		H28	H29	H30	H31	指標の説明
	一般利用者数	人	計画					
実績				4,541	4,464			
学童保育利用者数	人	計画						
		実績		4,996	5,599			
		計画						
		実績						
		計画						
		実績						

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		28年度決算	29年度決算	29年度予算	30年度予算	
全体コスト（円）	A 直接事業費	0	2,626,855	2,928,000	34,242,000	
	財源内訳	国県支出金				
		地方債		1,500,000		
		利用者負担				
		一般財源		1,126,855		
	B 人件費 ①×②	0	762,282			
	職員平均人件費①		7,622,821			
従事した割合②/人		0.10				
A + B	0	3,389,137				
単位コスト	活動指標の説明				備考	
	活動指標 1 単位当たりコスト				平成28年4月1日現在 人口39,358人	
	市民一人あたりのコスト	0	87		平成29年4月1日現在 人口38,817人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺状況等や今後の予測) 人口減少に伴う税収の減少など、厳しさを増す財政状況の中で、老朽化した公共施設の維持・更新は各自治体にとって大きな課題となっており、施設の統合や複合化を目指す動きが強まっている。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 地元協議会からは、早期の施設整備を求める声がある。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	市内でも利用者の多い施設であり、老朽化が進んでいる現状を考えると、施設更新の必要性は高い。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	小松島老人いこいの家は、芝田公民館・芝田放課後児童クラブ会館との複合施設であるため、市が整備するべき施設である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	廃園した幼稚園跡地に建設するため、新たな土地取得費用も発生せず、現施設を利用しながら新施設を建設することができるため、現施設の利用者に不便を強いることも少ない。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	地域の避難所としての指定も受けているが、建設から40年以上経過した、旧耐震基準による建物であるため、早期の建替えが望ましい。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	地元協議会をはじめ、関係各課とも協議を行い、建替えに向けた設計作業等を進めた。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	当該施設は公民館や学童保育施設との複合施設であることに加え、避難所としての機能も有しているため、建替えを進めるにあたっては、今後も地元協議会並びに関係各課との協議・調整が必要である。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2		3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	評価点	当該施設の建替えは、建物の経年劣化による必要性だけでなく、地元からも強い要望があることから、地元協議会をはじめ関係各課と協議・連携の上、早期の施設整備に努める。
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点	86	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容 (方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2		3 改善・効率化し継続	当該施設の利用者が安全・安心に施設を利用できるよう、関係者との協議を密に行い、早期の施設整備に取り組む。
		4 終期設定し終了	
		5 完了・休止・廃止	